

(対象設定ソフト Version: 1.1.0.0 以降)

2020年3月4日

= 目次 =

| 1 | はじ | ,めに1 |
|----|------|---|
| 2 | 動作 | 環境について1 |
| 3 | イン | ·ストールのしかた |
| 3 | .1 | 本ソフトのインストール |
| 3 | .2 | .Net Framework3.5のインストール (Windows 8.1の場合) |
| 3 | .3 | USBドライバのインストール |
| 4 | 割り |)当てられたCOM番号確認のしかた7 |
| 5 | アン | ·インストールのしかた |
| 5 | .1 | 本ソフトのアンインストール |
| 6 | 本体 | なとの接続のしかた |
| 6 | 5.1 | 本体の電源供給 |
| 6 | 5.2 | 電話機本体との接続用USBケーブル10 |
| 7 | 起重 | と終了のしかた11 |
| 7 | .1 | 起動のしかた11 |
| 7 | .2 | 終了のしかた11 |
| 8 | 通信 | 設定のしかた12 |
| 9 | 基本 | 、機能14 |
| 9 | 9.1 | メイン画面構成14 |
| 9 | .2 | メニューバーの構成15 |
| 9 | 9.3 | パラメータ編集のしかた16 |
| 9 | 9.4 | 各編集画面の機能17 |
| | 9.4. | 回線設定17 |
| | 9.4. | 2 通話設定19 |
| | 9.4. | 3 本体機能 |
| 9 | 9.5 | パラメータ読出 |
| 9 | 9.6 | パラメータ書込 |
| 10 | ファ | /イル機能 |

■シンプルコール(シリーズ)設定ソフト取扱説明書

| 10 | 0.1 | 新規作成 | 26 |
|----|-----|------------------------|----|
| 10 | 0.2 | 開く | 26 |
| 10 | 0.3 | 名前を付けて保存 | 27 |
| 10 | 0.4 | 上書き保存 | 27 |
| 10 | 0.5 | 終了 | 27 |
| 11 | メン | ッテナンス機能 | 28 |
| 11 | 1.1 | 動作ログ読み出し | 28 |
| 11 | 1.2 | 集計データ(通話記録)読み出し | 29 |
| 11 | 1.3 | パラメータ初期化 | 30 |
| 11 | 1.4 | 外部バックアップRAMクリア | 31 |
| 11 | 1.5 | 集計データ(通話記録)削除 | 32 |
| 11 | 1.6 | 端末ソフトバージョンアップ | 33 |
| 12 | シフ | マテム機能 | 35 |
| 12 | 2.1 | UIM カード電話番号読み出し | 35 |
| 12 | 2.2 | 端末現在時刻読み出し | 36 |
| 12 | 2.3 | 端末ソフトバージョン読み出し | 37 |
| 12 | 2.4 | 通信モジュールバージョン読み出し | 38 |
| 13 | ヘル | レプ機能 | 39 |
| 13 | 3.1 | バージョン情報 | 39 |
| 14 | 改訂 | 」履歴 | 40 |

1 はじめに

『シンプルコール(シリーズ)設定ソフト』(以下、本ソフト)は、電話機本体の動作に必要なパラメータ設定 やメンテナンスを行うためのアプリケーションソフトウェアです。

本ソフトを利用することで、電話機本体の「パラメータ変更」「各種ログの読出し」「本体ソフトのバージョ ンアップ」などを行うことができます。

※「V1.1.0.」以降の本ソフトは「シンプルコール(シリーズ)」用の位置づけになります。 (「V1.0.1.0」以前は「シンプルコール Light」用の位置づけ)

※本書の記載内容については、機能追加や改善のために予告なく変わることがあります。 ※本書に記載してある会社名、製品名(商品、サービス名)は、各社の商標または登録商標です。

2 動作環境について

本ソフトを実行させるために必要なパソコンの動作環境は下記のとおりです。

| No | 項目 | 説明 | |
|----|----------------------|--|--|
| 1 | オペレーティングシステム (OS) | Windows 7 (32bit/64bit) Windows 8.1 (32bit/64bit) Windows 10 (32bit/64bit) | |
| 2 | CPU | Intel®Celeron®CPU1GHz以上 | |
| 3 | メモリ | 1.0GB 以上 | |
| 4 | HDD 空き容量 | 100MB 以上 (パラメータファイル用ハードディスク容量は含まず) | |
| 5 | 解像度 | 1024×768 ピクセル以上 | |
| 6 | USB ポート 2.0×1 | 電話機との接続時に必要。 | |
| 7 | USB ドライバ | 通信を行うために、FTDI 社のデバイスドライバをイン ストールする必要がある。 | |
| 8 | .Net Framework (※注1) | .Net Framework3.5がインストールされていること。 | |

(※注1)

- オペレーティングシステムによっては、別途「.Net Framework 3.5」をインストールする必要があります。
- Windows 7 の場合:標準で「.Net Framework 3.5」がインストールされているので不要です。
- Windows 8.1 の場合:標準で「.Net Framework 4.5」のみがインストールされていますが、下位互換 はないので、別途「.Net Framework3.5」をインストールしてください。(対応方法は「3.2」項を参照。)
- Windows10の場合:標準で「.Net Framework 4.6.2」以降がインストールされています。
 「コントロールパネル」ー「プログラム(プログラムと機能)」ー「Windows の機能の有効化または無効化」
 画面で、「.NET Framework 3.5」にチェックが入った状態とします。

| USBドライバは、下記 URL にある FTDI 社のホームページよりダウンロードできます。 | | | | | | | |
|--|-----------------|-----------------|------------------|-------------------------|---------------|----------------|--|
| URL : | <u>http://v</u> | <u>www.ftdi</u> | <u>chip.com/</u> | Drivers/D2XX | <u>htm</u> (≯ | \$ 2019 | 年9月1日現在) |
| Currently Supported D2XX Drivers: | | | Γset | 「setup executable」をクリック | | | |
| Operating System | Release Date | x86 (32-bit) | x64 (64-bit) | ARM | MIPS | SH4 | Comments |
| Windows* | 2017-08-30 | 2.12.28 | 2.12.28 | - | - | - | WHQL Certified. Includes VCP and D2XX. Available as a setup executable Please read the Release Notes and Installation Guides. |

本書では、「Microsoft Windows 10 pro (64bit)」の画面例を元に説明しています。他の OS をご使用の 場合や OS の設定により、画面表示が異なる場合があります。

また、本書内で示すソフトウェアの画面図(ポート番号やバージョン番号などを含む)は表示例であり、 実際のものと異なる場合があります。

3 インストールのしかた

3.1 本ソフトのインストール

- インストーラ『setup_SimpleCallSeries_SettingTool_Ver*_*_*.exe』を実行します。
 ※「Ver*_*_*」部には、設定ソフトのバージョン情報が入ります。
- (2) インストーラの手順に従って、インストールを行います。
- (3) インストール完了後、デスクトップ上にショートカットアイコンが追加されます。



※スタートメニュー上にも「DMA World」 - 「シンプルコール(シリーズ)設定ソフト」が追加されます。

■重要■

本ソフトをWindows上で実行する場合、「.Net Framework 3.5」がインストールされている必要があります。OSの種類に応じた対応方法については、「2 動作環境について」の項をご参照ください。

3.2 .Net Framework3.5 のインストール (Windows 8.1 の場合)

■重要■

本ソフトをWindows上で実行する場合、「.Net Framework 3.5」がインストールされている必要があります。インストールされていない場合、本章に従ってインストールを行ってください。

(1) Microsoft ダウンロードセンターへアクセスし、「ダウンロード」ボタンをクリックします。

| (ダウンロードセンター: <u>http://www.microsoft.com</u> | <u>/ja-jp/download/details.aspx?id=22</u> |
|---|---|
| ← → C (▲ microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=22 | |
| Microsoft ダウンロードセンター Windows Office Web ブラウザー 開発者ツール Xbox | Windows Phor |
| Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 | |
| 重要/ ここで言語を選択すると、そのページのすべてのコンテンツが選択した言語に変更されます。 | |
| 言語を選択: 日本語 ・ ダウンロード | |
| Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 は、.NET Framework 2.0. 3.5 に追加された多数の新機能を含む完全な累積的な更新プログラムであり、 Framework 2.0 および .NET Framework 3.0 のサブコンボーネントに対する な保守更新プログラムも含んでいます。 | 、3.0、 .NET る累積的 |
| | |
| ⊕ システム要件 | |
| | |
| A sehn### | I |
| 「ファイルのダウンロード」画面から「実行」ボタンをク | リックします。 |
| ファイルのダリフロート - セキュリティの書音 | |
| このファイルを実行または保存しますか? | |
| 名前: dotnetfx35setup.exe 種類 アプリケーション、282 MB 発行元: download microsoft.com | |
| 実行(B) (保存(G)) ギャンセ | |
| インターネットのファイルは役に立ちますが、このファイルの種類はコンピュータ 題を起こす可能性があります。発信元が信頼できない場合は、このソフトウ 実行したり保存したりしないでください。 <u>危険性の原用</u> | マーに同 ウェアを |
| 実行ボタンをクリックします。 | |
| Internet Explorer - セキュリティの警告 | |
| このソフトウェアを実行しますか? | |
| 名前: dotnetfx35setup.exe | |
| 第行元 Microsoft Corporation | |
| (*) 追加オプションの表示(2) | 実行しない(型) |
| インターネットのファイルは役に立ちますが、このファイルの種類はコンピュー 住があります。信頼する発行元のソフトウェアのみ、実行してくたさい。色 | ータに問題を起こす可能 映性の現明 |
| インストール用プログラムが開始されるまでしばらく待 | ちます。 |
| セットアップ | |
| インストールコンボーネントを読み込んでいます。この | |
| | |
| | |

(5) インストールを続行するには、『マイクロソフト ソフトウェア追加ライセンス条項』に同意する必要 があります。「同意する」を選択し、「インストール」ボタンをクリックします。

| torbarsting torba | Microsoft .NET Frame | work 3.5 SP1 セットアップ | |
|--|--|--|---------------------------|
| サビッスキュロ:記録がたた者手いを見ていて、内容もよくお読み、だだい、このリフトウェア・アンストールすびには、ライビンス条項 第30のテキストを表示するには、PageDown キーを計PUC(だだい、 ● 回覧しない(な) ● 回覧しない(な) ● 回覧しない(な) ● ロクレファト、ソフトウェア、追加ライセンス 条項 第30のテキストを表示するには、PageDown キーを計PUC(だだい、 ● 回覧しない(な) ● ロクレファナ、ご買するシュードバッグをマイクロソフトに送信する(s) デーシロ連邦のジェーニ環する手柄 ダウンロードファイルサイズ: 63 MB ダウンロードノインストールが完了するまで、しばらく ダウンロード/インストールが完了するまで、しばらく ダウンロード/インストールが完了するまで、しばらく ダウンロード/インストールが完了するまで、しばらく ダウンロードバク・レクニャットを切取りた。 ● ロード/インストールが完了するまで、しばらく ダウンロードバク・キャットを切取りた。 ● ロード/インストールドが完了するまで、しばらく ● ロード/インストールドが完了するまで、しばらく ● ロード/インストールドが完了するまで、しばらく ● ロード/インストールドが完了するますで、しばらく ● ロード/インストールドが完了するますで、しばらく ● ロード/インストールドを見てきないていままする。 ● ロード/インストールドが完正するますいた。 ● ロード/ケートのが行いまます。 ● ロード/ケートののでするまする。 ● ロード/ケートののでするますのまで、 ● ロード/ケートののでする。 ● ロード/ケートのののでする。 ● ロード/ケートのののでする。 ● ロード/ケートのののでする。 ● ロードのですてもなし ● ロードのですてもなし ● ロードのですてもなし ● ロードのののでする。 | セットアップへようこそ | .net Fra | mewor |
| マイクロソフト ソフトウェア 追加ライセンス 条項 9005キストを表示するには、PageDown キーを押して(だだい。 ○同意しない(%) ●マークロズ重なリンーーご買する詳細 902-0-F274かりイズ: 0.3166 902-0-F274かりイズ: 0.3166 902-0-F274かりイズ: 0.3166 902-0-F274かりイズ: 0.3166 902-0-F274かりイズ: 0.3166 902-0-F274からのまたり 125727 ● 402-0000 小ごて Framework 1257-0000 ********************************* | ライセンス条項に記載された権利 インストールするには、ライセンス条 | と制限について、内容をよくお読みください。この を項に同意する必要があります。 | リフトウェアを |
| #005キストを表示するには、PageDown キーを押して(ださい。 ●問題するQAI ●同意しない420 ■セットアップに関するフィードバッグをマイクロソフトに送信する(S) デーシロモギリンーリー開する詳細 ダウンロードフィイルサイズ: 63 HG ダウンロードの推定時間: 21時間 35 分 (56 kbps) 17 分 (512 kbps) ********************************** | マイクロソフト 条項 | ソフトウェア 追加ライ | センス |
| □ とりトックル関するフィードバックをマクロソフトに送信する(2) - クジロード ファイル サイ 死: 1918 ダウンロード ファイル サイ 死: 1918 グウンロード クィーレ サイ たい: 17 (51 2 kbps) ・ ロクレロード / イレストール いが完了するまで、しばらく * グウンロード / イレストール いが完了するまで、しば * グウンロード / イレストール いが完了するまで、しば * * * * * * * * * * * * * * * * * * * | 独りのテキストを表示するには、Pa ② 同意する(A) ○ 同意しない(N) | ageDown キーを押してください。 | EUBI(P |
| ダウンロードク相定時間: 21時間 35 分 (56 kbps) 17 分 (512 kbps) エノントールのシーマント・レンジ・ティーン・レンジ・ティーン・レンジ・ティーン・レンジ・ティーン・レンジ・ティーン・レンジ・ティーン・レンジ・ティーン・レンジ・ティーン・レンジ・ティーン・レンジ・ティーン・レージ・アンロードド/インストールンが完了するまで、しいばらくオージ・グンロードド/インストールンが完了するまで、しいばらくオージ・グンロードド/インストールンが完了するまで、しいばらくオージ・グンロードド/インストールンが完了するまで、しいばらくオージ・マンコードレイシストールのが完了するまで、しいばらくオージ・マンコードレイシストールのが完了するまで、しいばらくオージ・マンコードレイシストールの場合はないで、シンジ・クランロードレイシストールの場合はないできます。 * グンロードド/インストールが完了するまで、しいばらくオージ・マンコードレイシストールの場合はないできます。 * グンロードドグインストールの場合はないできます。 * グンロードド/インストールの場合はないできます。 * グンロードド/インストールの場合はないできます。 * グンロードド/インストールの場合はないできます。 * グンロードド/インストールの場合はないできます。 * グンロードド/インストールの場合はないできます。 * グンロードド/インストールのしきま * グンロードド/インストールのしまま * グンロードド/インストールのしまま * グンロードド/インストールのしまま * グンロードドボーンシーシーン * グンロードレイン * グンロードバーン * グンロードバーン * グンロードバーン * ジャックガージ・シーン * ジャックジ・シーン * ジャックジ・シーン * ジャックシーン * ジャックシーン * ジャックシーン * ジャックシーン * ジャックシーン | セットアップに関するフィードバッ データ収集ポリシーに関する計 | ックをマイクロソフトに送信する(<u>5</u>) 68日 | |
| virial Control And Framework 35 SPI ゼ2ト272 Port Framework 35 SPI ゼ2ト272 Port Framework 123 | ダウンロード ファイル サイズ: ダウンロードの推定時間: | 63 MB 2 時間 35 分 (56 Kbps) 17 分 (512 Kbps) | |
| × v ウンロード/インストールが完了するまで、しばらくれ v つつーFとインストールの通行状態 ・ CET Framework イストーホ ・ ダウンロードが売てしました。インターネットを切断できます。 ※ Evzts 終了」ボタンをクリックして、インストール作業を終了 Microsoft NET Framework 3.5 SP1 セットアップ ・ ご この たまれたした ・ この 地話での50ft NET Framework 3.5 SP1 セットアップ ・ ご この たまれたした ・ この 地話用の最新の Service Pack およびせキュリティ運動プログラムをダウンロードしてインスト ールでないましたの、 Wicrosoft NET Framework 3.5 SP1 近くパンストールを計ました。 ・ この知品用の最新の Service Pack およびせキュリティ運動プログラムを対クンロードしてインスト ールでは、以下の Web サイトを参照してください Windows Update | | インストールの | **>2 |
| は、「キャンセル 「終了」ボタンをクリックして、インストール作業を終了 Microsoft NET Framework 3.5 SPI セクトアクフ セットアップが完てしました た Microsoft .NET Framework 3.5 SPI が正常にインストールされました。 ↓ この製品用の最新の Service Pack およびセキュリティ更新プログラムをダウンロードしてインスト ールすることを強くお勧めします。 詳細については、以下の Web サイトを参照してください: Windows Update | | | |
| 終了」ボタンをクリックして、インストール作業を終了 Microsoft_NET Framework 3.5 SP1 セットアップ セットアップが充了しました Microsoft_NET Framework 3.5 SP1 が正常にインストールされました。 ごの製品用の最新の Service Pack およびセキュリティ更新プログラムをダウンロードしてインストールすることを強ん勧勝します。 詳細については、以下の Web サイトを参照してください Windows Update | | しょ キャンセル | |
| セットアップが完了しました Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 が正常にインストールされました。 の割品用の最新の Service Pack およびセキュリティ更新プログラムをダウンロードしてインスト ーパすることを登ぶる新かします。 詳細については、以下の Web サイトを参照してください: Windows Ubdate | 終了」ボタンをクリッ Microsoft .NET Framework | ックして、インストール作業 3.5 SP1 セットアップ | を終了しる <mark>ID図</mark> |
| Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 が正常にインストールされました。 | セットアップが完了しました | .net Framewo | ork |
| | Microsoft .NET Framework 3.5 この製品用の最新の Service Pa ールすることを強くお勧助します。 詳細については、以下の Web サー | SP1 が正常にインストールされました。 cck およびセキュリティ更新プログラムをダウンロードして・ イトを参照してください: <u>Windows Update</u> | (DZF |
| 287/0 | | | |

3.3 USB ドライバのインストール

■重要■

●電話機本体とパソコンを接続する際、専用ドライバをインストールする必要があります。

●専用ドライバの個別インストールは、電話機本体ごとの初回接続時に自動的に行われます。

- (1) インストーラ『CDMxxxxx_setup.exe』を実行します。(※「xxxxx」には Version 情報(x.xx.xx)が入る)
- (2) インストーラが起動するので、「Extract」をクリックします。

| FTDI CDM Drivers | × |
|--|---|
| FTDI CDM Drivers | |
| Click 'Extract' to unpack version 2. 12. 28. 2 of FTDI's Windows driver package and launch the installer. | |
| | |
| < Back Cancel Cancel | |

| この前後にユーザアカウント制御の画面が表示され、「このアプリがデバイスに変更を加える |
|--|
| ことを許可しますか?」という旨の確認があれば、「はい」をクリックします。 |

(3) デバイスドライバのインストールウィザードが開きますので、「次へ」ボタンをクリックします。

| デバイス ドライバのインストール ウィザード | |
|------------------------|---|
| | テバイス ドライバのインスト ール ウィザードの開始 |
| | このウィザードでは、 いくつかのコンピュータ デバイスを動作させるために 必要なソフトウェア ドライバをインストールします。 |
| | |
| | |
| | ここをクリック |
| | 続行するには、[次へ]をクリックしてください。 |
| | < 戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>) > キャンセル |

(4) 使用許諾契約が表示されますので、「同意します」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

| デバイス ドライバのイン | ストール ウィザード | | |
|--------------|---|--|--------------------|
| 使用許諾契約 | | | Ð |
| Ŵ | 続行するには、使用許諾契約に同 スクロール バーまたは PageDown | 司意してください。契約書の全体をお読みになる キーを使ってください。 | 5(2(\$, |
| | IMPORTANT NOTICE: PLEAS THE RELEVANT SOFTWARE: This licence agreement (Licer (Licensee or you) and Future Seaward Place, Centurion Bus Company Number SC136640) provided by the Licensor(Soft | E READ CAREFULLY BEFORE INSTALLIN : nce) is a legal agreement between you Technology Devices International Limited siness Park, Glasgow G41 1HH, Scotland (I (Licensor or we) for use of driver software tware). | NG A of 2 UK |
| 選択 | BY INSTALLING OR USING T | THIS SOFTWARE YOU AGREE TO THE TE | RMS ¥ |
| A | ●同意します(A) ○同意します(A) | 名前を付けて保存(S) 印 ここをクリック | 扇(<u>P</u>) |
| | | < 戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>) > | キャンセル |

(5) ドライバのインストールが行われ、デバイスドライバのインストールウィザードの完了が表示され

| ますので、「完了」ボタンをクリックして、インストールを終 | 冬了します。 |
|------------------------------|--------|
|------------------------------|--------|

| デバイス ドライバのインストール ウィザード | | | | |
|------------------------|---|--------------------------------|--|--|
| | テバイストライバのイン | ストール ウィザートの完了 | | |
| | ドライバは、正しくこのコンピュータにインストールされました。 今、このコンピュータにデバイスを接続できます。デバイス付属の説明書がある場 合は、最初に説明書をお読みください。 | | | |
| | ドライバ名 ✓ FTDI CDM Driver Pack ✓ FTDI CDM Driver Pack | 状態 ここをクリック 使用できます 使用できます | | |
| | < 戻る(| 3 完了 キャンセル | | |

- (6) パソコンと電話機本体を USB ケーブルで接続します。 (※接続方法は、「6 本体との接続のしかた」をご参照ください。)
- (7) USB ケーブル接続時に下記バルーンがパソコン上に表示されます。

| デバイス ドライバー ソフトウェアをインストールしています 🌂 🗙 |
|-----------------------------------|
| - ステータスを見るには、ここをクリックしてください。 |
| |

(8) しばらくすると、下記バルーンがパソコン上に表示されます。

| これで、USB 通信 | ができる状態となります。 |
|-------------|-------------------|
| A | |
| デバイスを使用す | する準備ができました 🔹 🔌 🗙 |
| 🚚 デバイス ドライハ | ー ソフトウェアが正しくインストー |
| ルされました。 | |
| | |

4 割り当てられた COM 番号確認のしかた

(1)「スタート」ボタン
⁴を右クリックして、メニューから「デバイスマネージャー」を選択します。

| アプリと機能(F) | |
|----------------|--|
| モビリティ センター(B) | |
| 電源オプション(O) | |
| イベント ビューアー(V) | |
| システム(Y) | |
| デバイス マネージャー(M) | |
| | |

(※Windows 7 の場合、「スタートボタン・「コンピュータを右クリック」 – 「プロパティ」 – 「デバイスマネージャー」を選択します。)

(2)「デバイスマネージャー」画面の「ポート(COMとLPT)」項目に「USB Serial Port」というデバイス があり、割り当てられた「COM番号」を確認できます。(※下記は COM番号=12の例です。)

| 📇 デバイス マネージャー | | × |
|----------------------------|--|---|
| ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H) | | |
| 🗢 🔶 📧 🛛 🖬 💭 | | |
| > 💼 プリンター | | ^ |
| > 🛄 プロセッサ | | |
| > 📃 ポータブル デバイス | | |
| ~ 🌐 ポート (COM と LPT) | | |
| USB Serial Port (COM12) | | |
| > 🔲 マウスとそのほかのポインティング デバイス | | |
| | | |
| / <u> </u> | | ~ |
| | | |

【memo】 電話機本体とUSB 接続している状態でのみ確認できます。

5 アンインストールのしかた

5.1 本ソフトのアンインストール

- (1)「スタート」ボタン[■]から「コントロールパネル」を開きます。
 (※Windows 10 の場合、「Windows システムツール」内にあります。)
- (2) 「コントロールパネル」から[プログラム]>[プログラムのアンインストール]をクリックします。

(※OSのupdateによって、アンインストール用の画面を表示する手順が変わりことがあります。)

| $\leftarrow \rightarrow \lor \uparrow \bar{\mathfrak{g}} >$ コントロール パネル > プログラム | | |
|--|-------------------------------|--|
| コントロールパネル・ホーム | | |
| | プログラムと機能 プログラムのアンインストール ●W | |
| システム こじキュリティ ネットワークとインターネット | 以前のバージョンの Windows 用に作 | |

(3) プログラムの一覧から[シンプルコール(シリーズ)設定ソフト]を選択し、「アンインストールと変更」

| をクリックします。 | | | |
|---|---|------------------------------|---|
| 🧃 プログラムと機能 | | - 🗆 > | × |
| ← → × ↑ 🕅 « プログラム | > プログラムと機能 > ひ | プログラムと機能の検索 | Q |
| コントロール パネル ホーム インストールされた更新プログラムを 表示 ♥ Windows の機能の有効化または | プログラムのアンインストールまたは変 プログラムをアンインストールするには、一覧からブ [変更]、または [修復] をクリックします。 | 「更 「ログラムを選択して [アンインストール]、 | |
| 無効化 | 整理 ▼ | ∎=== ▼ | ? |
| | 名前 ^ ^ / / / / / / / / / / / / / / / / / | 発行元 | ^ |

(4) アンインストーラが起動しますので、画面の指示に従ってアンインストールしてください。

6 本体との接続のしかた

6.1 本体の電源供給

本ソフトを使用するにあたり、電話機本体を下記の手順にて『設定用モード』で起動させます。

 (1) 電話機本体の電源が OFF であることを確認します。
 (2) 電話機本体裏面のシャットダウンスイッチを押しながら、 電話機本体とパソコンとを USB ケーブルで接続します。 (電話機本体が『設定用モード』で起動します。)
 ※電話機本体は、パソコンから USB ケーブル経由で電源が供給されますので、USB ケーブルを接続 すると電話機本体の電源が ON します。

 <u>設定用モード起動方法(シンプルコール Light)</u>

 (①シャットダウンスイッチを押しな



※全ての LED が緑点滅で、電話機本体が『設定用モード』として起動した状態となります。

■設定用モード起動方法(シンプルコール Trad / シンプルコール TAXI)

電話機本体の形状はシンプルコール Light と異なりますが、設定モードの起動手順は同じです。



USB コネクタとシャットダウンスイッチは 左図の配置になります。(本体の背面)

6.2 電話機本体との接続用 USB ケーブル

● 電話機本体とパソコン間を接続する USB ケーブルは以下の形状のものを使用します。

| | 【「microB オス-A オス」形状】 | |
|------------------------|----------------------|-----------|
| シンプルコール Light | | USB Aコネクタ |
| | 【「B オス-A オス」形状】 | |
| シンプルコール Trad / TAXI | USB Bコネクタ | USB A379 |

● 市販品のUSBケーブルをご利用いただけますが、「充電・データ転送」タイプのものをご使用 ください。

(※「充電」のみのタイプの USB ケーブルは利用できません。)



7 起動と終了のしかた

7.1 起動のしかた

(1) パソコンのデスクトップ上に作成されている「ショートカットアイコン」をダブルクリックして、 設定ソフトを立ち上げます。

| シンプルコール(シリー ズ)設定ソフト | ショートカットアイコンを ダブルクリックする。 |
|---|--|
| シンブルコール設定ソフト - [新規作成] ファイル(E) メンテナンス(M) システム(S) 1回線設定 | - □ × ルブ(L) ▼自動発信先 |
| 2.通話設定 3.本体機能 | 電話番号 ※設定例:09012345678 (-ハイフンなし) 機能説明:利用者が受話器を上げた際に、本耳の「電話番号」へ 電話機から自動発信されます。 自動発信先の「電話番号」を入力します。 |
| | ▼受話器(ハンドセット)の音量設定[大](※工場出荷時ディップスイッチ選択側) マイク:ゲイン値 11 [0(低い)~19(高い)] イヤホン:音量 6 [0(低い)~10(高い)] |
| | ▼支詰器(ハンドゼッドルの音重設定[小] マイク:ゲイン値 9 [0(低い)~19(高い)] イヤホン:音量 5 [0(低い)~10(高い)] (機能説明: 電話機本体の萎を外すと、コンフィグ用スイッチ【SW4】があり |
| | 受話器の音量を設階(ON GOFF)で切り替えることができます。 本項は、ON(音量:大)及びOFF(音量:小)用の音量レベルを それぞれ割り当てます。 パラメータ読出 パラメータ書込 |

※「Ver1.0.1.0」以前の設定ソフトをお使いの場合、「1.回線設定」画面が最初に表示されます。 ※「Ver1.1.0.0」以前の設定ソフトをお使いの場合、タイトル部が「シンプルコール Light 設定ソフト」と 表示されます。

7.2 終了のしかた

下記何れかの方法で設定ソフトを終了できます。

【「ファイル」メニューからの終了】

●「ファイル」メニュー>「終了」をクリックする。

【「×」ボタンからの終了】

● メイン画面右上の「×」ボタンをクリックする。

8 通信設定のしかた

電話機本体とパソコンを接続しただけでは通信できません。通信する際にシリアルポートを開く必要が あります。

通信を必要とする本ソフトの各機能(パラメータ読出、パラメータ書込、動作ログの読出しなど)を実行しますと、通信用シリアルポート番号の選択ダイアログが表示されます。

選択ダイアログに従って、『シリアルポート番号(COM 番号)』の選択を行ってください。

(1) 通信を必要とする本ソフトの各機能を実行すると、『シリアルポート選択』ダイアログが表示されます。

| シリアルポート選択 | | |
|---|---|--|
| 使用するシリアルポート番号を選択してください。 COM12 ~ 通信開始 キャンセル | 左記画面は、 COM 番号 12 <i>の</i> 例です。 | |
| 【memo】 パソコン上のデバイスにポートが1つも存在しない場 | 合、上記の『シリアルポート番号』ダイアログは | |
| 表示されりす、「使用可能なシリアルホートが存在しない エラー × 使用可能なシリアルポートがデバイス上に存在しません。 | 「目のエフータイアロクか衣示されよう。 | |
| OK | | |
| 本エラーダイアログが表示された場合、以下の内容を | 確認してください。 | |
| ● USBドライバのインストールを行ったか? | | |
| ● USBドライバが正常にインストールできているか | ? | |
| ● USB ケーブルがパソコン上で正しく認識できているか? | | |
| ● 電話機本体とパソコンが、正しく USB ケーブルで | *接続されているか? | |
| 【シリアルポート(USB ドライバ状態)の確認について 電話機本体とパソコンを USB ケーブルで接続し、デ 認してください。 例えば COM 番号が表示されていても、警告マーク メーカーのサイトをご確認いただき、対象 OS および してください。 | 】 バイスマネージャー(「4」項参照)の画面を確 りが出ている場合には正しく通信できません。 最新版のドライバを入手してインストールし直 | |

(2) 『シリアルポート選択』ダイアログ上のドロップダウンリストから、電話機本体と接続されているポート番



(※パソコン上のデバイスに存在していないポートは、ドロップダウンリスト上には表示されません。)

[memo]

対応しているシリアルポート番号が、ドロップダウンリストに表示されない場合、

以下の内容を確認してください。

- USBドライバのインストールを行ったか?
- USBドライバが正常にインストールできているか?
- USB ケーブルがパソコン上で正しく認識できているか?
- 電話機本体とパソコンが、正しく USB ケーブルで接続されているか?
- (3)「通信開始」ボタンをクリックします。

| シリアルポート選択 | | |
|-----------|---------------|--------|
| 使用するシ | リアルポート番号を選択して | てください。 |
| | COM12 | / |
| | 通信開始 | キャンセル |

(4) 『通信中・・・』ダイアログが表示され、通信が開始されます。

| 通信中 | •• |
|-----|----|
| | |

| [memo] | |
|-----------------------|------------------------------|
| 選択したシリアルポートが「他のプログラム | で使用されている」等の要因によって OPEN に失敗した |
| 場合、下記のダイアログが表示されます。 | |
| 情報 × | |
| シリアルポートがOPEN出来ませんでした。 | |
| ОК | |

9 基本機能

9.1 メイン画面構成

| 本ソフトを起動した際、最 | 初に表示される画面です。 | |
|---|--|----|
| ● シンプルコール 設定ソフト - [新規作成] | - 🗆 X | |
| ファイル(<u>F</u>) メンテナンス(<u>M</u>) システム(S) | ヘルプ(圧) | |
| 1.回線設定 2.通話設定 3.本体機能 | ▼自動発信先 電話番号 (最大半角15文字) ※設定例:09012345678 (~1),472/ない) 機能説明: 利用者が受話器を上げた際に、本耳の「電話番号」へ 電話機から自動発信されます。 自動発信たの「電話番号」を入力します。 マ受話器(ハンドセット)の音量設定[大](※工場出荷時ディップスイッチ選択側) マイク:ゲイン値 11 [0(低い)~19(高い)] マやホン:音量 6 [0(低い)~19(高(い)] マラ話器(ハンドセット)の音量設定[小] マイク:ゲイン値 9 [0(低い)~10(高(い)] マラ話器(ハンドセット)の音量設定[小] マイク:ゲイン値 9 [0(低い)~19(高(い)] マラ話器の音量数を[小] マイク:ボイン値 5 [0(低い)~10(高(い)] 機能説明:電話機本体の蓋を外すと、コンフィグ用スイッチ[SW4]があり、 受話器の音量を2段時客(のN⇔OFF)で切り替えることができます。 本耳見は、ONA音量:大刀及びOFF(音量:小))用の音量レベリルを それぞれ割り当てます。 | -2 |
| | パラメータ読出 パラメータ書込 | -3 |

※「Ver1.0.1.0」以前の設定ソフトをお使いの場合、「1.回線設定」画面が最初に表示されます。 ※「Ver1.1.0.0」以前の設定ソフトをお使いの場合、タイトル部が「シンプルコール Light 設定ソフト」と 表示されます。

① <u>メニューバー</u>

[ファイル(F)]、[メンテナンス(M)]、[システム(S)]、[ヘルプ(H)]の各機能を実行できます。

② <u>設定領域</u>

各種設定を行う領域。タブ切替で設定種別の選択/切替できます。

3 機能ボタン

[パラメータ読出]、[パラメータ書込]の各機能を実行できます。

9.2 メニューバーの構成

| メニュー名 | 項目 | 内容 |
|--------|----------------------|------------------------|
| | 新規作成 | パラメータを新規に作成します。 |
| | 8日 / | パソコンに保存したパラメータファイルを |
| | | 開きます。 |
| ファイル | タ前を付けて保存 | パラメータ内容を任意のファイル名でパソ |
| 27470 | | コン上に保存します。 |
| | | 現在開いているパラメータファイルに上書 |
| | | き保存します。 |
| | 終了 | 本ソフトを終了します。 |
| | 動作ログ読み出し | 電話機本体の動作ログを読み出します。 |
| | 集計データ(通話記録)読み出し | 通話操作時間の記録データを読み出します。 |
| | パラメータ初期化 | 電話機本体のパラメータを初期化します。 |
| メンテナンス | 外部バックアップDAMクロア | SRAM に保存されている各種ログデータを |
| | ダ哈バックアックRAMクリア | クリアします。(※内蔵コイン電池で保存) |
| | 集計データ(通話記録)削除 | 通話操作時間の記録データを削除します。 |
| | 端末ソフトバージョンアップ | 電話機本体のソフトウェアを更新します。 |
| | | 組込んだ UIM カードの電話番号を読み出し |
| | UIMカード電話番号読み出し | ます。(電話機が通常起動し、待受け状態の |
| | | ときに読出し可能) |
| | 端末現在時刻読み出し | 電話機本体が計時している現在の時刻情報 |
| システム | | を読み出します。 |
| 27774 | (学生)ショト バージョン きょうし | 電話機本体のソフトウェアバージョン情報 |
| | | を読み出します。 |
| | 通信干ジュールバージョン詰み | 内蔵通信モジュールのソフトウェアバー |
| | | ジョン情報を読み出します。(電話機が通常 |
| | шо | 起動し、待受け状態のときに読出し可能) |
| | | 本ソフトのバージョンおよび、対応している |
| ヘルプ | バージョン情報 | 電話機本体のソフトウェアバージョン情報 |
| | | を表示します。 |

[memo]

本ソフトの対応バージョンよりも古い電話機本体(ソフトウェア)をご使用いただいた場合、正しく設定・ 情報読み出しできない場合があります。

この場合、「端末ソフトバージョンアップ」で電話機本体のソフトウェアを最新バージョンに書き換えるようにしてください。

(※電話機本体のソフトウェアデータは、本ソフトおよび取扱説明書と同じく、当社のダウンロードサイト から入手いただけます。)

9.3 パラメータ編集のしかた

【タブ切替】

本ソフト画面(左側エリア)上のタブを選択することで、各パラメータ設定画面を切り替えできます。

▽「1.回線設定」パラメータ

| | VoLTE回線 その他 | | |
|---|--|--|---|
| 回線設定 | | 初期値自動入力 | |
| 通話設定 | 自己IPアドレス | 0 0 0 0 spt-r mopera | U |
| 本体機能 | 接続先APN情報 | spmode.ne.jp [最大半角32文字] | |
| | 接続認証方式 | CHAP(MD5) ~ | |
| | 接続認証ユーザ名 | user [最大半角54文字] | |
| | 接続認証パスワード | ●●●● [最大半角16文字] | |
| | 電話機でゆ。 spモード以外 本耳夏で別のL 設定例: 自己ロアドレ 接続先APM 接続読録正力 接続認証力、 | して通話する際、して網。サード接続を想定を利用します。 MA接続するUNDMードとで使用しただく場合は、 LTE網の設定内容に変更してください。 /ス:0000 情報:[spモード]spmodene.jp [moperaU]mopera.net 式:CHAP(MD5) ーザ名:user (※任意内容) スワード:pass (※任意内容) | |
| | | | |
| | | パラメータ読出 パラメータ書返 | 1 |
| .本体機能」丿 | パラメータ | パラメータ読出 パラメータ書込 | 2 |
| .本体機能」) フルコール 設定ソフト - [新現作成 レヒD メンテナンス(M) システ <i>L</i> | パラメータ こ ふ(S) ヘルブ(H) (音声音信 時間帯切巻 B | パラメータ読出 パラメータ書び | |
| 本体機能」 ホーム機能) ホーム数定ソフト - [新規作成 パロ メンテナンス(M) システレ システレ 回線設定 通話設定 | パラメータ 3 4(S) ヘルプ(E) (音声者信 時間帯切登 B 者信選択 | パラメータ読出 パラメータ書込 時刻補正 (集計データ) ④ 音声著信を利用しない 〇 音声著信を利用しな。 | |
| 本体機能」 パレコール 設定ソフト - [新規作成 レロ メンテナンス(M) システレ 回線設定 通話設定 本体機能 | パラメータ (5) ヘルブ(1) (5) ヘルブ(1) (5) ヘルブ(1) (5) 高声音信 時間帯切登 B 着信選択 (▼着信制限機能 | パラメータ読出 パラメータ書込 時刻補正 集計データ ・ ・ | × |
| 本体機能」 ルコール 数定ソフト - [新規作成 ルロ メンラナンス(M) システレ 回線設定 通話設定 本体機能 | パラメータ 31 (5) ヘルプ(出) 「音声考信」時間帯切替」 着信選択 ▼着信制限機能 ●着信できる電話 | パラメータ読出 パラメータ書送 時別補正 [集計データ] ● 音声著信を利用しない ○ 音声著信を利用する 番号を限定する [最大半角15文字] | × |
| 本体機能」 パレコール 設定 ソフト - [新規作成 パレコール 設定 ソンテナンス(M) システレ 回線設定 通話設定 本体機能 | パラメータ 3] (5) ヘルプ(出) (1) (3) ヘルプ(出) (3) (4) (4) (5) (4) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5 | パラメータ読出 パラメータ書送 時刻補正]集計データ」 ● 音声着信を利用しない ● 音声着信を利用しない ● 音声着信を利用する 番号を限定する [最大半角15文字] 番号を11 ● | × |
| 本体機能」 ホな体機能」 ホロール 設定ソフト - [新規作成 小日 メンテナンス(M) システレ システレ 回線設定 通話設定 本体機能 | パラメータ (5) ヘルブ(出) (5) ヘルブ(出) (5) 香声音信 時間帯切登 B 着信意選択 挙着信制限機能 単信できる電話 受け付ける電話 受け付ける電話 受け付ける電話 | パラメータ読出 パラメータ書送 時刻1桶正]集計データ - ④ 音声着信を利用しない 〇 音声着信を利用する - 番号を限定する [最大半角15文字] 番号を[1] - 番号(2) - | |
| .本体機能」) プルコール 設定ソフト - [新規作成 ルロ メンテナンス(M) システレ 回線設定 通話設定 本体機能 | パラメータ 31 ((5) ヘルプ(1)) (5) ● 本書信 時間帯切巻 8 着信選択 ● 着信市限機能 ● 着信できる電話 一受け付ける電話 受け付ける電話 受け付ける電話 受け付ける電話 受け付ける電話 | パラメータ読出 パラメータ書込 時別補正 集計データ ● 音声著信を利用しない ● ● 音声著信を利用しない ● ● 音声者信を利用する [最大半角15文字] 番号(1) ● 番号(2) ● 番号(3) ● 番号(4) ● | × |
| .本体機能」 ガルコール 設定ソフト - [新規作品 ルロ メンテナンス(M) システル 回線設定 通話設定 本体機能 | パラメータ は(S) ヘルプ(L) 「音声考信」時間帯切音」 着信選択 ▼着信制限機能 「着信できる電話」 受け付ける電話 受け付ける電話 受け付ける電話 受け付ける電話 受け付ける電話 | パラメータ読出 パラメータ書送 時別補正 「集計データ」 ● 音声著信を利用しない ● 音声著信を利用しない ● 音声著信を利用する ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | × |
| .本体機能」) Лиコール 設定ソフト - [新規作成 レB メリラテナンス(M) システレ 回線設定 通話設定 本体機能 | パラメータ は、 ヘルプ(出) 「音声音信 時間帯切巻 」 着信道択 ▼着信制限機能 ■着信できる電話 受け付ける電話 受け付ける電話 受け付ける電話 受け付ける電話 受け付ける電話 受け付ける電話 受け付ける電話 受け付ける電話 | パラメータ読出 パラメータ書送 時別抽正 集計データ ● 音声著信を利用しない ● 音声著信を利用しない ● 音声著信を利用する 番号を限定する [最大半角15文字] 番号[1] ■ 番号[2] ■ 番号[2] ■ 番号[3] ■ 番号[4] ■ 番号[5] ■ 番号[6] ■ | |
| .本体機能」) フレュール ጷ定ソフト・[新規作成 レ/D メンラテンス(M) システl 回線設定 通話設定 本体機能 | パラメータ 31 4(5) ヘルブ(出) (言声考信 時間帯切巻 8 著信意選択 ● 著信できる電話 受け付ける電話 受け付ける電話 受け付ける電話 受け付ける電話 受け付ける電話 受け付ける電話 受け付ける電話 受け付ける電話 受け付ける電話 受け付ける電話 | パラメータ読出 パラメータ書送 時初1抽正]集計データ」 ● 音声着信を利用しない、 ● 音声着信を利用しない、 ● 音声着信を利用しない、 ● 音声着信を利用しない、 ● 音声着信を利用しない、 ■ 音声着信を利用した。 ● 音声着信を利用しない、 ■ 音声着信を利用した。 ● 音声着信を利用した。 ■ 音声着信を利用した。 ● 目の目の目の目の目の目の目の目の目の目の目の目の目の目の目の目の目の目の目の | |
| .本体機能」) パルコール 数定ソフト - [新規作成 パレロ メンラナンス(M) システレ 回線設定 通話設定 本体機能 | パラメータ (1) (5) ヘルブ(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | パラメータ読出 パラメータ書込 時初補正]集計データ」 ● 音声着信を利用しない ● 音声着信を利用しない ● 音声着信を利用しない ● 音声着信を利用しない ● 音声着信を利用しない ■ 音声着信を利用したのの ● 音声着信を利用しない ■ 音声着信を利用したのの ● 音声着信を利用しない ■ 音声音信を利用したのの ● 目のののののののののののののののののののののののののののののののののののの | |

9.4 各編集画面の機能

9.4.1 回線設定

電話機本体は「音声通話のみ」に用いる機器ですが、「VoLTE」方式で通話する際に LTE 網を利用します。default 条件として「sp モードで LTE 網に接続する」ことを想定していますが、「sp モード以外」へ接続する UIM カードを使用する場合は、設定内容を変更します。

| < Vol | TE | 回線 | > |
|-------------|------|-----|---|
| $\sim v o $ | ינונ | 凹/欧 | / |

| | | | – 🗆 X |
|---|---|--|-------------------------------------|
| ファイル(<u>F)</u> メンテナンス(<u>M</u>)システム(S) | ヘルプ(<u>H</u>) | | |
| 1.回線設定 | VoLTE回線 <u>そ</u> の他 | | 初期値自動入力 |
| 2.通話設定 | 自己IPアドレス | 0 0 0 0 | spモード moperaU |
| 3.本体機能 | 接続先APN情報 | spmode.ne.jp | [最大半角32文字] |
| | 接続認証方式 | CHAP(MD5) ~ | |
| | 接続認証ユーザ名 | user | [最大半角54文字] |
| | 接続認証パスワード | •••• | 【最大半角16文字】 |
| | 機能説明: 電話機でVoLTE spモード以外へ打 本項で別のLTE 設定例: 自己IPアドレス: 接続先APN情報 接続認証方式: 接続認証ユーザ 接続認証パスワ | 通話する際、LTE網(spモード接続を想 接続するUIMカードをご使用いただく場合 網の設定内容に変更してください。 0000 &: [spモード] spmode.ne.jp [moper CHAP(MD5) 名: user (※任意内容) ード: pass (※任意内容) | 見定)を利用します。 合は、 aU] mopera.net |
| | | パラメータ読出 | パラメータ書込 |

(※「Ver1.0.1.0」よりも前の設定ソフトをお使いの場合、初期値が「moperaU」になっていますので変更が必要です。)

- 「sp モード」で LTE 網に接続する場合、上記の初期値から変更不要です。(default の想定環境)
- 「moperaU」で接続する場合、画面右上にある「moperaU」の初期値自動入力ボタンを押して、 「接続先 APN 情報」を「mopera.net」に変更してください。
- 自社のLTE 閉域網などに接続する場合、各設定を対応する情報へと変更してください。

| No | オブジェクト名 | 入力方式/入力規制 | |
|----|--------------------|----------------------------|--|
| 1 | 白그 ID 고ドレフ | ●テキスト入力。(※半角数字入力のみ有効とする。) | |
| T | | ●最大半角3文字を超える入力は不可とする。 | |
| 2 | | ●テキスト入力。(※半角英数字入力のみ有効とする。) | |
| 2 | 按视元 APN 月報 | ●最大半角 32 文字を超える入力は不可とする。 | |
| 2 | | ●ドロップダウンリストからの選択。 | |
| 5 | 按枕認証力式 | 認証なし、PAP、CHAP(MD5) | |
| 4 | | ●テキスト入力。(※半角英数字入力のみ有効とする。) | |
| 4 | 按枕認証ユーリ名 | ●最大半角 54 文字を超える入力は不可とする。 | |
| | | ●テキスト入力。(※半角英数字入力のみ有効とする。) | |
| 5 | 接続認証パスワード | ●最大半角16文字を超える入力は入力不可とする。 | |
| | | ●入力された文字は「●」を用いて表示する。 | |

| < その他 > | |
|---|---|
| ⓒ シンプルコール 設定ソフト - [新規作成] | - 🗆 X |
| ● シソブルコール 設定ソフト - [新規作成] ファイル(E) メンテナンス(M) システム(S) 1.回線設定 2.通話設定 3.本体機能 | ヘルブ(出) VoLTE回線 逐の他 通信異常判定回数 10 回 [0~10回 (※0回:連続判定なし)] 機能説明: ・「電話がつながらない場合」もしくは 「内蔵通信モジュールと通信できない場合」に、 内蔵通信モジュールのリセットを行う機能となります。 ・上記の何れかの状態が連続発生して本項の「回数」に達した際、 内蔵通信モジュールのリセットを行います。 |
| | PINコード 0000 [半角4~8文字] 機能説明: ・「PINコード」とは、UIMカード用の4~8桁の暗証番号です。 ご利用になるUIMカードで「PINコード」によるロック機能を 利用たれている場合は、解除用の暗証番号を入力します。 ・ロック機能利用条件のUIMカードをご使用しただく場合、 この設定値の内容でPINコードの照合が行われます。 ・ロック機能を利用されていない場合は「0000」のままで構いません。 ・PINコード 照合失敗の繰り返しが3回発生しますと、UIMカードが ロックして使用できなくなりますのでご注意ください。 |
| | パラメータ読出 パラメータ書込 |

● UIM カードに対して「PIN コードのロック用機能(PIN コード照合してから使用できる条件)」を設定いただいている場合、該当する PIN コード内容に変更してください。

[memo]

誤った PINコード内容で電話機本体が3回照合を実施/失敗しますと、UIM カードがロックして使用できなくなりますのでご注意ください。 照合に失敗した場合、電話機本体の LED で専用のエラーパターンが表示されます。繰り返し試そうとせずに、PINコード内容を再設定してください。 (※LED 表示の点灯パターンについては、「シンプルコール Light 取扱説明書」をご参照ください。)

| No | オブジェクト名 | 入力方式/入力規制 |
|----|----------|--|
| 1 | 通信異常判定回数 | ●テキスト入力。(※半角数字入力のみ有効とする。) ●最大半角2文字を超える入力は不可とする。 |
| 2 | PIN コード | ●テキスト入力。(※半角数字入力のみ有効とする。) ●4~8文字以外は入力不可とする。 |

9.4.2 通話設定

| ● シンプルコール 設定ソフト - [新規作成] | - 🗆 X | |
|----------------------------|---|--|
| ファイル(E) メンテナンス(M) システム(S) | ハルブ(<u>H</u>) | |
| 1.回線設定 2.通話設定 3.本体機能 | ▼自動発信先 電話番号 (最大半角15文字) ※設定例:09012345678 ('-ソ)-(7ンなし) 一機能説明:利用者が受話器を上げた際に、本耳の「電話番号」へ 電話機から自動発信されます。 自動発信先の「電話番号」を入力します。 マ受話器(ハンドセット)の音量設定[大](※工場出荷時ディップスイッチ選択側) マイク:ゲイン値 1 (0(低い)~19(高い)] イヤホン:音量 6 (0(低い)~19(高い)] マグ5話器(ハンドセット)の音量設定[小] マイク:ゲイン値 9 (0(低い)~19(高い)] イヤホン:音量 5 (0(低い)~10(高(い)] 秘能説明: 電話機本体の蓋を外すを、コンフィグ用スイッチ【SWA】があり、 受話器の音量を26期皆(ON ⇔OFF)でも切り替えることができます。 本耳見は、ON(音量:大)及びOFF(音量:小))用の音量レベリとを それぞれ割り当てます。 | |
| | パラメータ読出 パラメータ書込 | |

ご利用になる電話機の動作にあわせて設定値を入力します。

- 受話器(ハンドセット)をあげた際、自動的に電話を掛ける相手先の番号を入力してください。
- 受話器のマイクとイヤホン部分の音量レベルを調整できます。
 なお、「大きな値は音割れ」「小さな値は聞こえない状態」になり易いため、ご注意ください。

| No | オブジェクト名 | 入力方式/入力規制 |
|----|-----------|--------------------------|
| | | ●テキスト入力。(※半角数字入力) |
| 1 | 電話番号 | ●最大半角 15 文字を超える入力は不可とする。 |
| | | ●ハイフン(-)は入力不可とする。 |
| 2 | フノク・ゲノン店 | ●テキスト入力。(※半角数字入力) |
| 2 | マイク: クイン恒 | ●最大半角2文字を超える入力は不可とする。 |
| 2 | | ●テキスト入力。(※半角数字入力) |
| 3 | 1 \/ハノ:百重 | ●最大半角2文字を超える入力は不可とする。 |

9.4.3 本体機能

| | ヘルノ(1) | -9 |
|------------------|--|-----------------------------|
| 1.回線設定 2.通話設定 | 着信選択 ● 音声和 ○ 音声和 | 着信を利用しない 着信を利用する |
| 3.本体機能 | ▼着信制限機能 | |
| | □ 着信できる電話番号を限定する | [最大半角15文字] |
| | 受け付ける電話番号【1】 | LAXXYYJIOXYJ |
| | 受け付ける電話番号【2】 | |
| | 受け付ける電話番号【3】 | |
| | 受け付ける電話番号【4】 | |
| | 受け付ける電話番号【5】 | |
| | 受け付ける電話番号【6】 | |
| | 受け付ける電話番号【7】 | |
| | 受け付ける電話番号【8】 | |
| | 受け付ける電話番号【9】 | |
| | 受け付ける電話番号【10】 | |
| | | ※設定例:09012345678 ('-ハイフンなし) |

ご利用になる電話機の動作にあわせて設定値を入力します。

 電話機本体への音声着信を利用される場合、「音声着信を利用する」に変更してください。 なお、変更することによって、以下の「▼着信制限機能」の入力が有効な状態に変わります。

| ▼着信制限機能 | |
|------------------|------------------------------|
| □ 着信できる電話番号を限定する | [最大半角15文字] |
| 受け付ける電話番号【1】 | |
| 受け付ける電話番号【2】 | |
| 受け付ける電話番号【3】 | |
| 受け付ける電話番号【4】 | |
| 受け付ける電話番号【5】 | |
| 受け付ける電話番号【6】 | |
| 受け付ける電話番号【7】 | |
| 受け付ける電話番号【8】 | |
| 受け付ける電話番号【9】 | |
| 受け付ける電話番号【10】 | |
| * | (設定例:09012345678 ('-'ハイフンなし) |
| | |

 特定の相手先(電話番号)からの音声着信のみを受け付けるようにする場合は、「着信できる電話番号を限定する」にチェックを付けて、対象となる電話番号を入力してください。 (ホワイトリストとして、最大10件まで登録できます。)

| No | オブジェクト名 | 入力方式/入力規制 |
|----|----------------|--------------------------|
| 1 | 着信選択 | ●ラジオボタンからの選択。 |
| 2 | 着信できる電話番号を限定する | ●チェックボックスからの選択。 |
| 2 | 8 受け付ける電話番号 | ●テキスト入力。(※半角数字入力) |
| 3 | | ●最大半角 15 文字を超える入力は不可とする。 |

<時間帯切替>

| ● シンプルコール 設定ソフト - [新規作成] | | - 🗆 X |
|---|--|---|
| ファイル(<u>F</u>) メンテナンス(<u>M</u>) システム(S) | ヘルプ(<u>H</u>) | |
| 1 回線設定 | 音声着信 時間帯切替 時 | 刻補正 集計データ |
| 2.通話設定 3.本休機能 | 切替選択 | ● 切替機能を利用しない ○ 切替機能を利用する |
| J.4 140% BC | ▼切替発信先 | |
| | 電話番号 | 【最大半角15文字】 ※設定例:09012345678 (~/\/イフンなし) |
| | 切替する時間帯 | 開始時刻: 00 時 00 分 ~ 終了時刻: 00 時 00 分 |
| | 機能説明: ・「2通話設定」>「 時間帯に応じて5 (「例」夜間のみ、 ・本項で設定した時 「2」通話設定」> | 自動発信先」の電話番号とは別に、 りの電話番号へ自動発信先を切替えることができます。 発信先を上記の電話番号に切り替える。) 間帯(切替発信先電話番号)以外の時間帯は、 自動発信先」の電話番号宛ての自動発信となります。 |
| | L | パラメータ読出 パラメータ書込 |

「受話器をあげた際、自動的に電話を掛ける相手先」を1日の時間帯に応じて切り替えできます。 (※例えば、昼間と夜間で電話を掛ける相手先番号を切替えることができます。) ご利用になる電話機の動作にあわせて設定値を入力します。

発信先の切り替え機能を使用する場合、「切替機能を利用する」に変更してください。
 なお、変更することによって、以下の「▼切替発信先」の入力が有効な状態に変わります。

| ▼切替発信先 | |
|---------|------------------------------|
| 電話番号 | [最大半角15文字] |
| | ※設定例:09012345678 ('-'ハイフンなし) |
| 切替する時間帯 | 開始時刻: 00 時 00 分 ~ |
| | 終了時刻: 00 時 00 分 |

● 切替えて発信する相手先の電話番号と、切り替えする時間帯を入力してください。

| No | オブジェクト名 | 入力方式/入力規制 | |
|----|------------|-----------------------------------|--|
| 1 | 切替選択 | ●ラジオボタンからの選択。 | |
| 2 | 切替発信先 電話番号 | ●テキスト入力。(※半角数字入力) | |
| 2 | | ●最大半角 15 文字を超える入力は不可とする。 | |
| 2 | 切替する時間帯 | ●テキスト入力。(※半角数字入力のみ有効とする。) | |
| 3 | | ●最大半角2文字を超える入力は不可とする。 | |

<時刻補正>

| ● シンプルコール 設定ソフト - [新規作成] | - 0 | × |
|---|---|---|
| シンブルコール設定ソフト - [新規作成] ファイル(E) メンテナンス(M) システム(S) 1.回線設定 2.通話設定 2.すたは修生 | | × |
| ₫. 本体微 能 | 機能説明: 電話機本体は、時刻情報を持っています。 (時間帯切替)[[ログ機能]で現在時刻の情報を使用します。) (注動時、自動的に時刻を取得します。) ・時刻を定期的に補正する間隔(日)、及び実施時刻を入力します。 ・時刻を定期的に補正する間隔(日)、及び実施時刻を入力します。 ・時刻を定期的に補正する間隔(日)、及び実施時刻を入力します。 ・時刻に満足なる間隔(日)、及び実施時刻を入力します。 ・時刻に満足なる間隔(日)、及び実施時刻を入力します。 ・時刻情正的に補正する間隔(日)、及び実施時刻を入力します。 ・時刻に満足なり、した場合、 毎日22時30分に時刻構正が行われます。 ・日間隔の22時30分に時刻構正が行われます。 ・日間隔の22時30分に時刻構正が行われます。 ・時刻補正中は「通話機能を利用できませんので、 利用者の少ない時間帯にあわせておくことをお勧めします。 ・日間帯の少ない時間帯にあわせておくことをお勧めします。 ・日間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | |
| | パラメータ読出 パラメータ書込 | |

ご利用になる電話機の動作にあわせて設定値を入力します。

電話機本体の時刻を補正する際、完了するまでは通話できない状態となります。
 初期設定は「毎日 00:00」の実施タイミングです。
 当該時間帯に通話操作をされる場合は、別の実施時刻へと変更してください。

| No | オブジェクト名 | 入力方式/入力規制 |
|----|-----------|---|
| 1 | 時刻補正間隔(日) | ●テキスト入力。(※半角数字入力のみ有効とする。) ●最大半角2文字を超える入力は不可とする。 |
| 2 | 時刻補正実施時刻 | ・ (※半角数字入力のみ有効とする。) ● 最大半角 2 文字を超える入力は不可とする。 |

| <集計データ> | |
|---|--|
| ● シンプルコール 設定ソフト - [新規作成] | - 🗆 X |
| ファイル(<u>F)</u> メンテナンス(<u>M</u>)システム(S) | ヘルプ(圧) |
| 1.回線設定 2.通話設定 3.本体機能 | (○) (第日第切替」時刻補正 (集計データ) 集計機能使用選択 ・使用しない ・使用する(フル件数保存時:最古データを消して、最新データを登録) ・使用する(フル件数保存時:最新データは登録しない) (同用する(フル件数保存時:最新データは登録しない) (限能説明: ・通話操作の時間を記録する機能になります。(1件ごとに記録します。) ・以下の形式の記録を2000件まで保存できます。(カンマ区切り) [呼出時刻応答時刻(終了時刻)呼出コード,相手先電話番号] ※時刻は[「YMMDDhhmmss](西暦下2桁)形式です。 ※電話がつながらなかった際の応答時刻(は)「FFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFF |
| | ※「呼出コード」は「01:音声発信」「02:音声着信(受付)」「03:音声着信(拒否)」です。 ※「相手先電話番号」はハイフンなし。非通知の場合「FFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFF |
| | |

電話機本体で通話操作した時間の集計データを「通話記録」として記録できます。(最大 2000 件) 本ソフトで集計データ(通話記録)を読み出せます。(「11.2」項参照)

ご利用になる電話機の動作にあわせて設定値を入力します。

● 「集計データ(通話記録)」の保存・読出し機能を使用される場合は、「使用する」に変更してください。(最大件数分まで記録された後の振る舞いを2パターンから選択できます。)

| No | オブジェクト名 | 入力方式/入力規制 | |
|----|-----------|-----------------|--|
| 1 | 集計機能 使用選択 | ●チェックボックスからの選択。 | |

9.5 パラメータ読出

電話機本体から現在のパラメータを読み出します。

(1) 本ソフト画面上の右下部にある「パラメータ読出」ボタンをクリックします。



(2) 確認ダイアログが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

| 確認 | × |
|---------------------|---|
| ? 「パラメータ読出」を開始しますか? | |
| OK キャンセル | |

(3) 『シリアルポート選択画面』が表示されますので、電話機本体と接続されているポート番号を選 択します。

| (※詳細は、「8 通 | 信設定のしかた | 」を参照してください。) |
|------------|-------------|--------------|
| シリアルポート選択 | | |
| 使用するシリ | アルポート番号を選択 | してください。 |
| C | 0M4 | ~ |
| | 0M12 0M4 | |
| | 通信開始 | キャンセル |

- (4) 『シリアルポート選択画面』上の「通信開始」ボタンをクリックすることで、パラメータ読出が開始さ



(5) パラメータ読出が完了しますと、完了した旨のダイアログが表示されます。

| "通信異常"等の要因によってパラメータ読出が失敗した場合、エラーダイアログが表示されます。 |
|---|
| |

9.6 パラメータ書込

電話機本体へパラメータを書き込みます。

(1) 本ソフト上の右下部にある「パラメータ書込」ボタンをクリックします。



(2) 確認ダイアログが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

| 確認 | | × |
|------------|------------------|---|
| ? r | パラメータ書込」を開始しますか? | |
| (| ОК + +>2ル | |

(3) 『シリアルポート選択画面』が表示されますので、電話機本体と接続されているポート番号を選択します。

| シリアルポート選択 | | |
|-----------|-----------|---------|
| 使用するシリア | ルポート番号を選択 | してください。 |
| CC |)M4 | ~ |
| CC | M12 | |
| CC | 0M4 | |
| | 通信開始 | キャンセル |
| | | |

(4) 『シリアルポート選択画面』上の「通信開始」ボタンをクリックすることで、パラメータ書込が開始さ



(5) パラメータ書込が完了しますと、完了した旨のダイアログが表示されます。

| | ļ |
|--|---|
| "通信異常"等の要因により、パラメータ書込が失敗した場合は、エラーダイアログが表示されます。 | |

10 ファイル機能

10.1 新規作成

パラメータを新規に作成します。(※各設定画面上にパラメータ初期値が展開されます。)

- (1) 本ソフトのメニューバーから「ファイル(F)」>「新規作成(N)」を選択します。
- (2) 確認ダイアログが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

| 確認 | | \times |
|----|-------------------------------|----------|
| ? | 犢集中のパラメ−タは破棄されます。 よろしいですか? | |
| | OK キャンセル | |

(3) 各設定画面上にパラメータ初期値が展開されます。

[memo]

- 本ソフトを起動した際は、「新規作成」の状態になります。
- パラメータ編集中であった場合、本機能を実行しますと、編集中の設定内容は破棄されます。

10.2 開く

パソコンに保存したパラメータファイルを開きます。(※拡張子は「*.TXF」) (※各設定画面上にパラメータファイルの内容が展開されます。)

- (1) 本ソフトのメニューバーから「ファイル(F)」>「開く(O)…」を選択し、『ファイルを開く』画面を開き ます。
- (2) 『ファイルを開く』画面から、対象となる"パラメータファイル"を選択します。
- (3) 各設定画面上にパラメータファイルの内容が展開されます。

(memo)

パラメータ編集中であった場合、本機能を実行しますと、編集中の設定内容は破棄されます。

10.3 名前を付けて保存

各設定画面上のパラメータ内容をパソコン上に任意の名称でパラメータファイルとして保存します。

- (1) 本ソフトのメニューバーから「ファイル(F)」>「名前を付けて保存(A)...」を選択し、『名前を付けて 保存』画面を開きます。
- (2) 保存したいファイル名を入力/指定します。
- (3) 『名前を付けて保存』画面上の「保存」ボタンをクリックします。
- (4) 上記(2)のファイルに、各設定画面上のパラメータ内容を格納して保存します。

[memo]

既に保存されているファイル名と同じ名称を「保存したいファイル名」として入力/指定した場合は、"上書き保存"されます。

10.4 上書き保存

現在開いているパラメータファイルに対して、各設定画面上のパラメータ内容で上書き保存します。

- (1) 本ソフトのメニューバーから「ファイル(F)」>「上書き保存(S)」を選択します。
- (2) 確認ダイアログが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

| 確認 | \times |
|-------------------|----------|
| ? ファイルを上書き保存しますか? | |
| ОК ++v2h | |

(3) 現在開いているパラメータファイルに上書きで保存します。 (各設定画面上のパラメータ内容を保存します。)

(memo)

パラメータファイルを開いていない場合は、「名前を付けて保存」と同じ処理が実行されます。

10.5 終了

本ソフトを終了します。

- (1) 本ソフトのメニューバーから「ファイル(F)」>「終了(Q)」を選択します。
- (2) 本ソフトが終了します。

[memo]

パラメータの編集中であった場合、本機能を実行しますと、編集中の設定値は破棄されます。

11 メンテナンス機能

11.1 動作ログ読み出し

電話機本体は、各種動作のログ情報を随時記録しています。(※最新の 1000 件分まで記録) 本ソフトで動作ログを読み出して、内容を確認/保存することができます。

- (1) 本ソフトのメニューバーから「メンテナンス(M)」>「動作ログ読み出し(A)...」を選択します。
- (2) 下記の操作用画面が表示されます。 動作ログ表示 端末時刻は起動後に1月1日から 開始し、その後に自動で補正します。 読出し 閉じる (3)「読出し」ボタンをクリックすると、「確認ダイアログ⇒シリアルポート選択」操作して読み出せます。 シリアルポート選択 確認 使用するシリアルポート番号を選択してください。 「動作ログ読み出し」を開始しますか? COM4 COM12 通信開始 キャンセル OK キャンセル (4) 読み出した動作ログ内容は、「保存」ボタンの操作でファイル名を付けて保存できます。 動作ログ表示 ^



11.2 集計データ(通話記録)読み出し

電話機本体に、通話操作した時間の集計データを「通話記録」として記録させることができます。 (※「9.4.3」項の「集計データ」画面で「使用する」に設定した場合に、最大 2000 件分まで記録します。) 本ソフトで集計データ(通話記録)を読み出して、内容を確認/保存することができます。

- (1) 本ソフトのメニューバーから「メンテナンス(M)」>「集計データ(通話記録)読み出し(C)...」を選択します。
- (2) 下記の操作用画面が表示されます。

| 集調 | 計データ(通話記録)読み出し |
|--------------|---|
| | 以下の形式の通話記録を読み出します。(カンマ区切り。最大2000件。) |
| | 呼出時刻応答時刻,終了時刻,呼出コード,相手先電話番号 |
| | ※時刻は[YYMMDDhhmmss](西暦下2桁)形式です。 ([例] 2019年9月30日12:07:400場合 → 19083012:0740) ※電話が合かなかと院のに応答時刻は(FFFFFFFFFFFで)で表示します。(12桁のF) ※[呼出コーゼ]は[01:音声発信](52:音声着信(受付)][03:音声着信(拒否))を表します。 ※[相手先電話番号]は/\イフンなしです。非通知の場合[FFFFFFFFFFF]で表示します。(15桁のF) |
| | |
| | 読出し 保存 閉じる |
|)「 育 確 | 読出し」ボタンをクリックすると、「確認ダイアログ⇒シリアルポート選択」操作して読み出せます。 ^認 × ^{ジリアルポート選択} |
| | (実計データ(通話記録)読み出し」を開始しますか? (使用するシリアルボート番号を選択してください。 COM4 COM4 COM4 COM4 |
| | OK キャンセル 通信開始 キャンセル |
|)読 | そみ出した通話記録の内容は、「保存」ボタンの操作でファイル名を付けて保存できます。 |
| 集 | 計データ(通話記録)読み出し (拡張子は「*.log」) |
| | 以下の形式の通話記録を読み出します。(カンマ区切り、最大2000件。) |
| | |
| | |
| | ※時刻はIYYMMDDhhmmss』西暦 2470形式で9。 (「例 2019年8月30日12:0740の場合 → 190830120740) ※電話がつながらなかった際の[応答時刻]は[FFFFFFFFFFF]で表示します。(12桁のF) ※[呼出コード]は[01:音声発信][02:音声着信(受付)][03:音声着信(拒否)]を表します。 ※[相手先電話番号]はハイフンなしです。非通知の場合[FFFFFFFFFFFF]で表示します。(15桁のF) |
| | 呼出時刻,応答時刻,終了時刻,呼出コード,相手先電話番号 190829165421,190829165428,190829165430,01,09082124375 190829165446,190829165448,190829165454,02,09082124375 190830095350,190830095356,190830095400,01,09082124375 190830095408,FFFFFFFFFFFFF,190830095416,01,09082124375 190830095408,FFFFFFFFFFFFFF,190830095439,02,09082124375 1908301905432,FFFFFFFFFFFFFF,190830095439,02,09082124375 190830110706,FFFFFFFFFFFFFF,190830110706,01,09082124375 190830110706,FFFFFFFFFFFFF,190830120548,01,09082124375 190830110706,FFFFFFFFFFFFF,190830120548,01,09082124375 |
| | 1 90830211 708/1 90830211 71 4/1 90830211 71 5/01/090821 24375 1 909021 20250 1 909021 20256 1 909021 20259 01 ,090821 24375 1 909021 20311 ,FFFFFFFFFFF,1 909021 2031 7,02,090821 24375 1 909021 95838,1 909021 95844,1 909021 95846,01 ,090821 24375 1 909031 95000,1 909031 955009,1 909031 9501 3,01,090821 24375 1 9090409351 3,1 90904093520,1 90904093525,01 ,090821 24375 |
| | 190904093542,190904093544,190904093548,02,09082124375 |
| | |

11.3 パラメータ初期化

電話機本体のパラメータを初期値内容へと初期化します。

■重要■

- ●本機能を実行することで、電話機本体のパラメータ内容が初期化されます。
- <u>自動発信先の電話番号が未設定の状態</u>に戻りますので、改めて再設定が必要となります。
- ●なお、本操作を実行しても、本ソフトの各設定画面上のパラメータ内容は初期値に戻しません。 そのため、引き続きパラメータ内容の編集を実施される際はご注意ください。
- ●電話機本体のソフトをバージョンアップ(書き換え)した際、機能拡張によってパラメータの構成が 変わることがあります。

この場合は、本操作によって電話機本体のパラメータ情報を初期化してから、ご利用条件のパラメータを再設定してください。

- (1) 本ソフトのメニューバーから「メンテナンス(M)」>「パラメータ初期化(I)」を選択します。
- (2) 確認ダイアログが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

| 確認 | | \times |
|----|--------------------|----------|
| ? | 「パラメータ初期化」を開始しますか? | |
| | OK キャンセル | |

(3) 『シリアルポート選択画面』が表示されますので、電話機本体と接続されているポート番号を選択します。

| シリアルポート選択 | | |
|-----------|------------|---------|
| 使用するシリ | アルポート番号を選択 | してください。 |
| C | OM4 | ~ |
| C | DM12 | |
| | 通信開始 | キャンセル |
| | | 115 Ch |

(※詳細は、「8 通信設定のしかた」を参照してください。)

(4) 『シリアルポート選択画面』上の「通信開始」ボタンをクリックすることで、パラメータ初期化が開始

| されます。 | 通信由け 通信由ダイアログが表示 |
|--------|-----------------------|
| 通信中 •• | 通信中は、通信中ダイアログが表示されます。 |

(5) パラメータの初期化が完了しますと、完了した旨のダイアログが表示されます。

[memo]

"通信異常"等の要因により、パラメータ初期化が失敗した場合は、エラーダイアログが表示されます。

11.4 外部バックアップ RAM クリア

電話機本体の SRAM に保存されている各種ログデータをクリアします。 (※SRAM のデータ内容を内蔵コイン電池でバックアップしています。)

[memo] 本機能によって、各種ログデータ(動作ログ、通話記録)を強制的にクリアします。

- (1) 本ソフトのメニューバーから「メンテナンス(M)」>「外部バックアップ RAM クリア」を選択します。
- (2) 確認ダイアログが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

| 確認 | | × |
|----|--------------------------|---|
| ? | 「外部バックアップRAMクリア」を開始しますか? | |
| | OK キャンセル | |

(3) 『シリアルポート選択画面』が表示されますので、電話機本体と接続されているポート番号を選 択します。

| 使用する | シリアルポート番号を選択 | してください。 |
|------|--------------|---------|
| | COM4 | ~ |
| | COM12 | |
| | COM4 | |
| | 通信開始 | キャンセル |
| | | |

(※詳細は、「8 通信設定のしかた」を参照してください。)

(4)ックすることで、RAM クリアが開始されます。

| 通信中 •• | 通信中は、通信中ダイアログが表示 |
|--------|------------------|
| | されます。 |

(5) SRAM データのクリアが完了しますと、完了した旨のダイアログが表示されます。

| "通信異常"等の要因により、RAM クリアが失敗した場合は、エラーダイアログが表示されます。 | |
|--|--|

11.5 集計データ(通話記録)削除

電話機本体に、通話操作した時間の集計データを「通話記録」として記録させることができます。

(※「9.4.3」項の「集計データ」画面で「使用する」に設定した場合に、最大 2000 件分まで記録します。) 本機能によって、記録済みの集計データ(通話記録)を削除(全クリア)できます。

- (1) 本ソフトのメニューバーから「メンテナンス(M)」>「集計データ(通話記録)削除(D)」を選択します。
- (2) 確認ダイアログが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

| 確認 | | \times |
|----|-------------------------|----------|
| ? | 「集計データ(通話記録)削除」を開始しますか? | |
| | OK ++>>セル | |

(3) 『シリアルポート選択画面』が表示されますので、電話機本体と接続されているポート番号を選択します。

| シリアルポート選択 | | |
|-----------|-----------|---------|
| 使用するシリア | ルポート番号を選択 | してください。 |
| CC |)M4 | ~ |
| CC | M12 | |
| CC | 0M4 | |
| | 通信開始 | キャンセル |
| | | |

(※詳細は、「8 通信設定のしかた」を参照してください。)

(4) 『シリアルポート選択画面』上の「通信開始」ボタンをクリックすることで、集計データ(通話記録)

| の削除(全クリア)が開 | 始されます。 | 通信中は 通信中ガノマロガが志三 |
|-------------|--------|-----------------------|
| 通信中 … | | 道信中は、通信中タイノロクが表示されます。 |
| | | |

(5) 集計データ(通話記録)の削除が完了しますと、完了した旨のダイアログが表示されます。

(memo)

<u>"通信異常"</u>等の要因により、集計データ(通話記録)の削除が失敗した場合は、エラーダイアログが表示されます。

11.6 端末ソフトバージョンアップ

電話機本体のソフト(ファームウェア)を新しいバージョンに書き換えることができます。 あらかじめ、『書き込むプログラムファイル(***.mot)』を準備しておく必要があります。

| ■重要■ | | | |
|---|--|--|--|
| ●本機能を利用する際、電話機本体を設定用モードで立ち上げる必要があります。 | | | |
| (「6.1 本体の電源供給」の項を参照) | | | |
| ●電話機本体が設定用モードで起動していない場合は、電話機本体側でバージョンアップ機 | | | |
| 能を受け付けませんので、失敗となってエラー情報のダイアログが表示されます。 | | | |
| | | | |
| (ファームウェア更新」が受信タイムアウトしました。 | | | |
| | | | |
| ОК | | | |

(1) 本ソフトのメニューバーから「メンテナンス(M)」>「端末ソフトバージョンアップ(U)…」を選択し、 『端末ソフトバージョンアップ画面』を開きます。

| 端末ソフトバージョンアップ | |
|---------------|--------|
| ■プログラムファイル選択 | |
| | ファイル選択 |
| | |
| | 更新開始 |
| | 閉じる |
| | 0.0101 |

- (2) 『端末ソフトバージョンアップ画面』の「ファイル選択…」ボタンを押下し、『書き込むプログラム ファイル(***.mot)』を選択します。
- (3) 『端末ソフトバージョンアップ画面』の「更新開始」ボタンをクリックします。
- (4) 確認ダイアログが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



(5) 『シリアルポート選択画面』が表示されますので、電話機本体と接続されているポート番号を選択します。

| ください。 |
|-------|
|] |
| |
| キャンセル |
| |

(※詳細は、「8 通信設定のしかた」を参照してください。)

■シンプルコール(シリーズ)設定ソフト取扱説明書

(6) 『シリアルポート選択画面』上の「通信開始」ボタンをクリックすることで、本体ソフトの書き換えが



●電話機本体のソフト更新中に電話機本体の電源をOFFしないでください。更新中に電源OFFされますと、タイミングによってはソフトが壊れて起動できなくなることがあります。 この場合、電話機本体をメーカーへセンドバックいただく形の修理が必要になります。

(7) 本体ソフトの書き換えが完了しますと、下記のダイアログが表示されます。



※電話機本体の LED は、「アンテナ表示:全消灯」「状態表示:緑点灯」の状態になります。

(8) 電話機本体の電源を OFF して、バージョンアップ操作を終了します。

(memo)

● 本操作で電話機本体のソフトを書き換えしても、設定済みのパラメータ内容は残ります。

● ただし、機能拡張に伴って「パラメータ構成が変わる本体ソフトのバージョン」へと書き換えした場合は、以下の操作を実施してください。

- (1) 電話機本体を設定用モードで起動させる。
- (2) 「11.3 パラメータ初期化」の項にあるパラメータ初期化操作を実施する。
- (3) 電話機本体のパラメータを再設定する。

12 システム機能

12.1 UIM カード電話番号読み出し

電話機本体に挿入されている UIM カードの電話番号情報を読み出します。

- (1) 本ソフトのメニューバーから「システム(S)」>「UIM カード電話番号読み出し(S)」を選択します。
- (2) 確認ダイアログが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

| 確認 | | Х |
|----|--|---|
| ? | 「UIMカード電話番号読み出し」を行いますか? (待受けに移行した後、読み出せます。) | |
| | OK キャンセル | |

(3) 『シリアルポート選択画面』が表示されますので、電話機本体と接続されているポート番号を選択します。

| (※詳細は、「8 | 通信設定のしかた」を参照してくださ | v。) |
|-----------|-------------------|-----|
| シリアルポート選択 | | |

| リアルホート送が | |
|--------------|-------------|
| 使用するシリアルポート番 | 号を選択してください。 |
| COM4 | \sim |
| COM12 | |
| COM4 | |
| 通信開 | 開始 キャンセル |
| | |

(4) 『シリアルポート選択画面』上の「通信開始」ボタンをクリックすることで、電話番号読み出しが開



(5) 電話番号の読み出しが完了しますと、電話番号情報のダイアログが表示されます。



[memo]

- <u>"通信異常"</u>等の要因により、読み出しが失敗した場合は、エラーダイアログが表示されます。
- 起動直後、もしくは設定用モードで起動している場合は、UIMカードを読み込みしていません。 このような場合、ダイアログ内の電話番号の部分が「-----」表示になります。

12.2 端末現在時刻読み出し

電話機本体が計時している現在時刻の情報を読み出します。

(※電話機本体の時刻は、起動時に[2019年1月1日 00:00:00]から始まり、通常起動後に時刻を補 正してから現在時刻へと変わります。)

- (1) 本ソフトのメニューバーから「システム(S)」>「端末現在時刻読み出し(T)」を選択します。
- (2) 確認ダイアログが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

| 確認 | | × |
|----|---------------------|---|
| ? | 「端末現在時刻読み出し」を行いますか? | |
| | OK キャンセル | |

(3) 『シリアルポート選択画面』が表示されますので、電話機本体と接続されているポート番号を選択します。

| (※詳細は、「8 通 | 信設定のしかた | こ」を参照してくださ | い。) |
|------------|-------------|------------|-----|
| シリアルポート選択 | | | |
| 使用するシリブ | ルポート番号を選択 | してください。 | |
| 00 | DM4 | ~ | |
| | 7MT2 2M4 | | |
| | 通信開始 | キャンセル | |
| | | | |

(4) 『シリアルポート選択画面』上の「通信開始」ボタンをクリックすることで、現在時刻の読み出しが

| 開始されます。 | |
|---------|------------------|
| | 通信中は、通信中ダイアログが表示 |
| 通信中 •• | されます。 |

(5) 現在時刻の読み出しが完了しますと、現在時刻情報のダイアログが表示されます。



[memo]

"通信異常"等の要因により、読み出しが失敗した場合は、エラーダイアログが表示されます。

12.3 端末ソフトバージョン読み出し

電話機本体のソフトウェアバージョン情報を読み出します。

- (1) 本ソフトのメニューバーから「システム(S)」>「端末ソフトバージョン読み出し(V)」を選択します。
- (2) 確認ダイアログが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



(3) 『シリアルポート選択画面』が表示されますので、電話機本体と接続されているポート番号を選択します。

| (※詳細は、「8 | 通信設定のしかた」を | を参照してください。) |
|-----------|-------------------|-------------|
| シリアルポート選択 | | |
| 使用するシ | リアルポート番号を選択して | ください。 |
| | COM4 ~ | |
| | COM12 | |
| | COM4 | |

通信開始

(4) 『シリアルポート選択画面』上の「通信開始」ボタンをクリックすることで、本体ソフトのバージョン

キャンセル



(5) ソフトのバージョン読み出しが完了しますと、ソフトバージョン情報のダイアログが表示されます。



「Ver. XX.XX WallHanging」 ↑↑↑ この部分が Version 値

【memo】 "通信異常"等の要因により、読み出しが失敗した場合は、エラーダイアログが表示されます。

12.4 通信モジュールバージョン読み出し

電話機本体に内蔵している通信モジュールのソフトバージョン情報を読み出します。

- (1) 本ソフトのメニューバーから「システム(S)」>「通信モジュールバージョン読み出し(M)」を選択し ます。
- (2) 確認ダイアログが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

| 確認 | × |
|--|---|
| ? 「通信モジュールバージョン読み出し」を行いますか? (待受けに移行した後、読み出せます。) | |
| OK ++>>tzl | |

(3) 『シリアルポート選択画面』が表示されますので、電話機本体と接続されているポート番号を選 択します。

| (※詳細は、「8 通 | 信設定のしかな | こ」を参照してくださ | い。) |
|------------|-----------|------------|-----|
| シリアルポート選択 | | | |
| 使用するシリア | ルポート番号を選択 | してください。 | |
| 00 | 0M4 | ~ | |
| | 0M4 | | |
| | 通信開始 | キャンセル | |
| | | | |

(4) 『シリアルポート選択画面』上の「通信開始」ボタンをクリックすることで、通信モジュールのソフト

| バージョン読み出しが | 開始されます。 | |
|------------|---------|---------------------------|
| 通信中 •• | | 通信中は、通信中ダイアログが表示 されます。 |
| | | |

(5) ソフトのバージョン読み出しが完了しますと、ソフトバージョン情報のダイアログが表示されます。



[memo]

- "通信異常"等の要因により、読み出しが失敗した場合は、エラーダイアログが表示されます。
- 起動直後、もしくは設定用モードで起動している場合は、通信モジュールの情報を読み込みして いません。このような場合、ダイアログ内のバージョン情報が「--.--」表示になります。

13 ヘルプ機能

13.1 バージョン情報

本ソフトのバージョン情報および、本ソフトで扱える電話機本体のソフト(ファームウェア)バージョン の各情報を表示します。

- (1) 本ソフトのメニューバーから「ヘルプ(H)」>「バージョン情報(A)...」を選択します。
- (2) 本ソフトの各情報を示すダイアログが表示されます。

| パージョン情報 |
|--|
| <u>シンプルコール設定ソフト</u> (シンプルコールシリーズ用) |
| Copyright © Haneron 2020 設定ソフト バージョン:1.1.0.0 対応ファームウェア バージョン:01.02以降 |
| 閉じる |

14 改訂履歴

| 版数 | 改訂日 | 参照 | 改訂内容 |
|------|------------|---------------------|--|
| 1.00 | 2019/09/04 | | 初版 |
| 1.10 | 2019/11/29 | 表紙 | 対象設定ソフト Version の情報を追加 |
| ſ | 1 | 7.1、9.1 | 起動後に表示される画面を「2.通話設定」の画面に変更 |
| Î | ſ | 8 | シリアルポート(USBドライバ状態)の確認に関する補足説明追記 |
| ſ | 1 | 9.3 | 「1.回線設定」画面の内容を変更 |
| Ť | 1 | 9.4.1 | 「1.回線設定」(VoLTE 回線)画面の内容を変更 設定に関する説明内容を変更(default を sp モード接続とする) |
| Î | 1 | 9.4.1 | 「1.回線設定」(その他)画面の PIN コードを用いて電話機が照合 に失敗した場合、専用の LED パターン表示となる旨を追記 |
| 1.20 | 2020/03/04 | 全般 | 「シンプルコール Light 設定ソフト」⇒「シンプルコール(シリーズ)設 定ソフト」に名称を変更 |
| 1 | 1 | 1 | 「V1.1.0.0」以降から上記名称に変わった旨の説明を追加 |
| ſ | 1 | 6.1 | シンプルコールの「Light」と「Trad/TAXI」で、設定モード起動方法の説明を切り分け |
| ſ | 1 | 6.2 | シンプルコールの「Light」と「Trad/TAXI」で、使用する USB ケーブ ル形状の説明を切り分け |
| ſ | ſ | 7.1 | ショートカットアイコンと起動後の初期画面を「シンプルコール(シ リーズ)設定ソフト」の内容に変更 「V1.1.0.0」以前の画面タイトル部の表示名称が異なる旨を追記 |
| ſ | 1 | 9.1 | 画面を「シンプルコール(シリーズ)設定ソフト」の内容に変更 「V1.1.0.0」以前の画面タイトル部の表示名称が異なる旨を追記 |
| Î | 1 | 9.4.1~9.4.3 13.1 | 各画面を「シンプルコール(シリーズ)設定ソフト」の内容に変更 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |